



H18. 3.17 1184
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 浜名漁協採貝組合連合会が農林水産大臣賞を受賞

去る3月8～9日の両日、東京・虎ノ門パストラルにおいて、第11回全国青年・女性漁業者交流大会が全国の青年・女性漁業者等約460人の参加を得て盛大に開催されました。

当日は全国から51の研究実践グループが参加し、資源管理・資源増殖部門 漁業経営改善部門 流通・消費拡大部門 地域活性化部門 多面的機能・環境保全部門の5分科会に分かれ、浜の活性化を目指した研究成果や実践活動を発表しました。

本県からは、浜名漁協採貝組合連合会(発表者：鈴木庄司氏)が第1分科会(資源管理・資源増殖部門)において「浜名湖のアサリ資源回復への挑戦」と題して、日頃の成果を発表しました。

その結果、浜名湖のアサリ資源回復のため、小型アサリの保護、稚貝の移植、アサリの外敵ツメタガイの駆除や、潮干狩り客への啓発活動等を実施して、これらの活動が功を奏して、平成13年度以降漁業者一人当たりの平均水揚げ量が約2倍、平均水揚げ金額が約3倍と、資源管理を行う前に比べ大幅に上昇したというすばらしい成果を上げ、今後もこのような活動を展開することにより、一層の収益の向上が期待されると高く評価され、本県では青年・女性漁業者交流大会で、初めてとなる農林水産大臣賞を受賞しました。

また、同連合会は潮干狩りシーズン前に、ツメタガイの一斉駆除を実施する予定で、さらに「浜名湖アサリ」のブランド化へも取り組んで行くこととしています。

2. 平成17年度卒業式を挙行 第36期生11名が海の男に - 県立漁業高等学園 -

県立漁業高等学園では、3月9日平成17年度(第36期生)卒業式を挙行し、本県漁業の将来を担う海の若人11人(航海科3人・機関科8人)を漁業の第一線に送り出しました。

現在同学園では、漁業を志す25歳までの男子を対象に、新しい時代に即応できる有能な担い手の育成に努め、近代化された漁船装備の操業技術や漁業に関する基礎知識を習得させており、昭和45年の設立以来770人が同学園を巣立っています。

式典では、卒業生全員に卒業証書と記念品が授与され、鈴木園長の式辞に続いて、来賓として星川同学園後援会副会長(県信漁連会長)より祝辞が述べられました。

引き続き、卒業生を代表して航海科の山本崇純君(沼津市)が「強さとたくましさだけでなく、優しい心を持った海の男となり、良き漁業後継者になりたい」と力強く答辞を述べました。

また、1年間の目標として各種資格免許取得に取り組んだ結果、ダイバー免許講習及び小型船舶操縦士・第二級海上特殊無線技士の認定試験では全員が合格したほか、海技士資格については、4級海技士試験(筆記)に1名、5級海技士試験(筆記)に2人が合格しました。

なお卒業生は、県内漁船への就職(乗船)が次のとおり決定しています。

定置網漁業：3人 金目漁業：2人 近海巻網漁業：4人 遠洋かつお漁業：2人

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. 海面水温過去100年で0.5度上昇

気象庁では、地球環境監視の観点から海洋変動を詳しく解説した、海洋の健康診断表「総合診断表」の各診断項目について、3月7日より同省のホームページで公表しました。

それによると、地球温暖化による海洋の長期変化については、地球全体の海面水温は、100年あたり約0.5度上昇していましたが、これは陸地における地上気温の上昇率(100年あたり約0.8度)よりやや小さく、また、海面水温、陸地における地上気温とも、北半球のほうが南半球より上昇率が大きかった。これらの事実は、気候モデルで地球温暖化について計算した結果と符合しています。海面水温の長期的な上昇傾向には、地球温暖化の影響が現れている可能性が高いとしています。

気候による海洋の変動については、本州南方における黒潮の流路は、大蛇行と非大蛇行の二つに大別されます。流路の変動は、水温分布や日本南岸の潮位の変動を伴い、漁業をはじめとするさまざまな分野に影響を及ぼし、また、黒潮は大量の熱を低緯度から中緯度へ運んでおり、その流量の変動は大気への熱放出量をつうじて気候に影響を与えていると考えられます。

黒潮大蛇行は1965年以降5回発生し、黒潮の流路は、2004年7月下旬に13年ぶりに大蛇行となり、翌年8月まで継続しました。大蛇行の継続期間は1年2ヶ月で、前回1989～91年の大蛇行と同程度でした。また、東海沖での最南下緯度は、1980年代の3例の大蛇行と同程度でした。大蛇行流路への移行期間にあたる2004年7月から東海地方沿岸で表層水温と潮位が高くなり、潮位の高い状態が05年2月まで続きました。

海洋の診断表HPアドレス：<http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/sougou>

4. 新刊図書紹介 「海洋白書2006」 海洋政策研究財団編

成山堂書店では、海洋・沿岸域に関する活動の最新情報から、世界の動きまでを横断的に取り上げ、図やグラフ、写真などを織り交ぜてビジュアル的にも分かりやすく仕上げた、「海洋白書2006」(海洋政策研究財団編)を発売しました。

本書の第1部「かけがえのない海」では、海洋資源から政策、物流・輸送インフラ、安全保障といった海洋産業を詳細に解説し、第2部「日本の動き世界の動き」では、ここ1年ほどの内外情勢を中心に、世界の動向を時系列的に説明しています。第3部では、21世紀の海洋政策への提言をはじめ、取り上げた課題や出来事に関する重要資料を選定して掲載しています。 問合せ先：成山堂書店 TEL:03-3357-5861

定価：1,995円(税込み) A4版・並製230頁

5. 会議・日程(3月21日(火)～4月3日(月))

- 既報分省略 -

3月22日(水) 県漁連 = 養殖生産物安全対策検討会 (県水産会館)

3月27日(月) 県信漁連 = 健全化委員会 (")

" 県信漁連 = 理事会 (")

" 県漁船海難救済基金協会 = 理事会・評議員会 (")

3月28日(火) 県漁連 = 県キンメダイ資源管理漁業者協議会 (")

" 県漁連 = 県資源管理推進漁業者協議会 (")

3月28日(火)～29日(水) 県漁連 = 漁協新職員研修会 (")

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう